

個人指導

大倉学園では、**現役高校生**を対象に個人指導を実施しています。

授業が終わった後

クラブ活動や部活
が終わった後

土曜日・日曜日など
高校が休みの時

大倉学園
の
個人指導システム

医学部受験に精通した講師が、一対一で直接指導します。

私立医学部入試の出題傾向は、他の理系学部と違った傾向で出題され、医学部入試特有の問題が多く見られます。また大学ごとにも対策を立てなければなりません。

センター試験をメインに勉強していた生徒さんにとって、私大医学部入試直前に、センター科目の演習やマーク練習を行っていたら、私大医学部入試には間に合いません。センター試験の出題範囲と私大医学部入試の出題範囲は違います。(下記の表を参照してください)

**センター試験が終わって、
私大医学部対策をしても間に合いません!!**

【国公立大医学部入試対策】 ①センター試験で9割以上の得点を目指します。②2次対策の英文和訳や英作文、数学の記述対策などで合格点を目指します。

【高校授業の復習】 ①中間テストや期末テスト対策②高校の授業内容をもう一度復習して、学力の定着を目指します。

《センター試験&私大医学部一般入試 出題科目比較表》

	センター試験 (H24.1/14、15)	私大医学部 一般入試 (H24.1/18 岩手 医大からスタート)	特 徴
英語	リスニングあり	リスニングなし	長文問題は、自然科学系(医療系)の文章が多い。
数学	I A・II B	I A・II B・III C	差をつける問題として、III Cからの出題は増加
理科 (化学・生物・物理)	I	I・II	差をつける問題として、IIからの出題が多い。また、 化学II(糖・アミノ酸・タンパク質など)・生物II(遺伝子・DNA・免疫など) の範囲は、医学部で勉強するために学んでおくべき基礎項目なので、特に出題が多く、点差に表れやすい。